

単元名	Unit 6 20th Century Greats	配当時間	7～10時間
単元の目標	(1) ある人物についてレポートをまとめ、発表しようとする。 (2) ○接触節を用いて身近なことを表現することができる。 ○ある人物についてのレポートをまとめることができる。 (3) ○レイチェル・カーソンの業績や生涯について読み、その内容を理解することができる。 ○ジョン・レノンについてのレポートを聞き、その要点をつかむことができる。 (4) 接触節及び関係代名詞の用法を理解することができる。		

本単元では、接触節と関係代名詞という2つの名詞の後置修飾の用法を身に付けさせたい。また、レイチェル・カーソンについて学習することから環境問題について考えさせる契機としたい。

SO(1) 接触節の用法を知り、練習する。

接触節を使ってWord Definition Gameをつくろう。

評接触節を用いて身近なことを表現することができる。

(発表、観察)

SO(2) 接触節を用いたコミュニケーション活動に取り組む。

D(1) 関係代名詞whoの用法を知り、練習する。

関係代名詞を使ったクイズに挑戦しよう。

評関係代名詞whoを用いた文の意味を理解することができる。

(発表、観察)

D(2) ペアでの対話文暗唱と関係代名詞whoを用いたコミュニケーション活動に取り組む。

RC P.68 カーソンの業績を読み取る。また、関係代名詞that [which] (主格)の用法を知る。

RC P.69(1) カーソンの生涯を読み取る。また、関係代名詞that [which] (目的格)の用法を知る。

RC P.69(2) 本文の情報に基づいてYT1に取り組む。

LP6 ジョン・レノンについてのレポートの発表を聞き取り、彼についての表や年表を完成する。

まとめ3 手紙文を完成する活動を通して、後置修飾の用法をまとめる。

単元のまとめ 学習事項をまとめ、単元テストに取り組む。

- ・対話による接触節の口頭導入
- ・教科書にある他の著名人の説明
- ・接触節を用いた身近なものの説明の例示
- ・生徒の自作した単語の定義のチェックおよびアドバイス
- ・JTEとのデモンストレーションを見せながらのゲームのルール説明
- ・クイズの出題者
- ・ロールプレイの相手
- ・関係代名詞を用いた、人物の名前を答えるクイズの作成
- ・暗唱発表の評価、アドバイス
- ・コミュニケーション活動への参加
- ・カーソン以外の、生徒のよく知っている人物についてのスピーチ
- ・関係代名詞を用いた文の例示
- ・レポートづくりのチェック、アドバイス
- ・ジョン・レノンやビートルズについてのスピーチ
- ・手紙文づくりのチェック

- の接触節については、修飾語、被修飾語の位置が、日本語と逆であることに注意させる。
- の接触節を用いたコミュニケーション活動では、身近なものを表す(定義する)文をいくつか作らせ、それをクイズの問題としてカードに書いた単語をとりあうカルタのようなゲームも考えられる。
- ～ の関係代名詞の扱いについては理解の段階にとどめる。
- ～ の、主格の関係代名詞に導かれる節の動詞は先行詞によって三単現のsがつくなど、形の変化があることに注意させる。
- の、目的格の関係代名詞は、接触節と比較してその用法の違いに気付かせ、それが関係代名詞であること、省略ができることを知らせる。
- のジョン・レノンについては、Book 2のLP6で"Happy Christmas"を聞いている。さらに彼の生涯を理解する上で、"Imagine" "Love" "Mother"などの曲を紹介したり、ビートルズの曲を紹介してみるのもよい。

